■ 事務局からのお知らせ ■

1. 学術集会の予定

第28回日本Pediatric Interventional Cardiology学会学術集会は2017年1月26日(木)~28日(土),学術総合センター・一橋記念講堂,賀藤 均会長 (http://www2.convention.co.jp/28jpic/)第29回日本Pediatric Interventional Cardiology学会学術集会は2018年1月18日(木)~20日(土),福岡国際会議場・須田憲治会長で開催されます。

筆頭演者として発表できるのは、JPIC 学会会員に限ります.

会員でない方は、JPIC 学会ホームページ (http://www.jpic-meeting.org/) から会員登録をお願いします。

2. 会費納入のお願い

2016年度会費が未納の会員におかれましては年度内に会費のお振込をお願い申し上げます。 本会の活動資金の大部分は、会員の皆様の会費によって成り立っております。

学会の円滑な運営のため、年会費納入にご理解ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2017年度ASD閉鎖栓とPDA閉鎖栓の使用に関する 施設認定申請と術者認定申請について

2017年度(2017/4/1–2018/3/31)にASD閉鎖栓を用いたASD閉鎖術およびPDA閉鎖栓(Amplatzer duct occluder)を用いたPDA閉鎖術の実施を希望する施設・術者は、新規使用、継続使用ともに施設認定および術者認定の申請書類提出が必要です。JPIC学会のホームページ→カテーテル治療について(会員ページでは教育プログラム) \rightarrow ASD閉鎖栓,PDA閉鎖栓から書式をダウンロードして申請してください。

2016年1月の規約の改訂に伴い、申請用書式を刷新しておりますので新しい書式を使用して申請手続きをお願いいたします。

ご自身の施設・術者の条件に合った書類を選んですべてに記入すれば必要事項が揃うようになっています。ただし、1-1、1-2とハイフンにより複数書式あるものでは、該当するものをひとつ選んでご記入ください。

【ASD閉鎖栓】

継続 6書類 (施設申請4書類, 術者申請2書類)

新規 5書類 (施設申請4書類, 術者申請1書類)

【PDA閉鎖栓】

継続 5書類(施設申請3書類, 術者申請2書類)

新規 4書類(施設申請3書類, 術者申請1書類)

*新規申請における「教育プログラム受講申請と誓約書」は審査後に教育プログラム受講を申請する段階で提出してください。年末の締め切り時には提出不要です。

Journal of JPIC Vol. 1, No. 2 (2016)

1. 申請書類のエクセルファイルを教育担当理事 榊原記念病院 矢崎 諭およびJPIC事務 局の2カ所にメール添付で送信してください。CVIT施設ではCVIT事務局を加えた3カ 所に送信してください。送信期限は

2016年12月25日(日)まで

でお願いいたします.

メールアドレスは矢崎; <u>syazaki@shi.heart.or.jp</u> およびJPIC事務局; <u>jpic-post@bunken.</u> co.jp およびCVIT事務局; info@cvit.jpです.

提出書類の電子版はエクセルファイルとしてください. PDFファイルは受け付けません のでご注意ください. エクセルファイルにも申請者, 責任者氏名などを入力してください (例年, この部分の入力落ちが目立っています. 押印は不要です).

2. また,押印した申請書類の原本は**2016年12月26日(月)消印有効**でJPIC学会事務局宛に 郵送もしくは宅配便にて提出してください.

T162-0801

東京都新宿区山吹町358-5アカデミーセンター

国際文献社内 JPIC 学会事務局

- 3. ホームページの施設基準と教育プログラムの項目を熟読の上、漏れや誤記載がない書類の作成をお願いいたします。特に対象となる手術の種類、カテーテル治療の種類に関してご留意ください(ASD閉鎖栓、PDA閉鎖栓のページに詳しい解説FAQがアップされていますのでご参照ください:これも2016年に改訂しています)。毎年、大動脈の手術や非開心術など該当しない手術が混在したリストの提出が多く、審査に困難を生じています。外科から入手したリストをそのまま提出するのではなく、必ず申請者が目を通して基準に合致するものだけを選んで提出してください。
- 4. 12月25日以降の症例が必要となる場合は、上記締め切りでいったん提出した後に追加分を提出してください。
- 5. 2016年1月の規約の改訂により、CVIT施設限定の施設基準はなくなりました。また、新規術者の申請の際には先天性心疾患に対する右心カテーテル検査の経験が付加されています。リストアップ可能な手術として、先天性心疾患に対する手術で短絡術も人工心肺を使用していればカウント可能となりました。リストには人工心肺使用の付記が必要です。先天性心疾患以外の手術では、人工心肺を使用しない手術、大動脈単独の手術、冠動脈バイパス単独の手術は対象外であることが明記されました。規約の条件に沿った内容を記載した書類のご提出をお願いいたします。

Journal of JPIC Vol. 1, No. 2 (2016)

